

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スタディ		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 3月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 12日		～ 令和8年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との月1回程度の面談や日々の電話・メール連絡等を通して、家庭・家族の困り感を聞き取り支援に繋がりました。	母子、父子通園している際や、日ごろから電話やメール等で子どもの様子をこまめに伝える事で保護者との信頼関係作りに努め、困り感を伝えやすい環境を整えました。また、仕事が多忙で面談が少ない家庭には職員側から家庭訪問をしたり、連絡をとることで、保護者が困り感を伝えやすいように配慮して関わりました。	引き続き、月一回程度の面談や日常の電話・メール連絡等を行い保護者と繋がり、また、グループカウンセリングやグループスタディへの参加を促し家族支援の拡充を図っていきます。
2	人材育成では法人研修、年代別研修、朝研修、外部講師による研修など充実しています。外部研修にも積極的に参加し専門的力を付けることに努めています。	安全管理に必要な研修では様々な場面を想定し練習を行い安全を守る支援ができるようにしています。年代別研修では、学びたい研修をアンケートを取りそれに沿って計画を立てるなど当人が聞きたい、学びたい研修を取り入れて行いました。	人材育成については引き続き個別SV、グループSVを定期的に行い困っていることを相談してより良い支援に繋がっています。
3	クラス会議で子ども達や家庭の状況を職員、非常勤職員とも情報共有を行っています。	職員のSVを行い、クラスのGSVを行い、困っていることや悩みなどを把握し、解決のための助言を行いました。職員同士助け合えるようにコミュニケーションを取っていきました。	困ったことなど上司と相談したり、クラスの職員と連携し、チームで支援を行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園との交流や、地域の子どもたちと交流する機会が少ないです。	インフルエンザ、コロナなどの感染症の流行などもあり交流する機会を持つことが難しかったです。	法人内の保育園と一緒に活動の計画を立てるなど交流する機会を積極的に持てるようにしていきます。
2			
3			